



## シンポジウム・市民講座のご案内



**L**2015  
**LIFE**

**L I F E 2 0 1 5**  
高齢化・福祉社会に向け産・学・福祉現場を繋ぐ  
生活支援・医療・福祉工学系の3学会の連合大会

期 間： 2015年9月8日（火）～9日（水）

場 所： 九州産業大学（福岡市）

主 催： 日本生活支援工学会・日本機械学会・ライフサポート学会、  
九州経済産業局・福岡県・九州ヘルスケア産業推進協議会

開催主旨： 本大会は、人の生命・生活を維持・向上させるための、生命、リハビリ・生活支援などの研究発表をおこなう学術講演会です。学術成果を社会還元するため以下の企画を準備しています。いずれも一般公開しており入場無料で事前登録不要です。どうぞおいでください。

### 特別講演（入場無料）

日 時： 9月8日（火）13:00～15:00

会 場： 1号館 2階 S201室

講演1 「Design, Control and Application  
of Lower Limb Exoskeleton Integrated System」(英語)  
Sogang 大学 機械工学科 教授 Doyoung Jeon 先生

講演2 「リハビリテーション訓練支援ロボットの臨床応用－課題と展望」  
産業医科大学 医学部 准教授 和田 太 先生  
(東京女子医科大学 リハビリテーション科)

### シンポジウム

日 時： 9月8日（火）15:10～17:45

会 場： 1号館 2階 S201室

プログラム：

15:10 開会挨拶：LIFE2015 大会長 榊泰輔

15:15～16:05 基調講演：公益財団法人 医療機器センター 理事長 菊地 眞 氏  
「医療機器産業振興を目指した産学官臨の最近の取り組み」

16:10～16:40 講 演：国立研究開発法人 日本医療研究開発機構  
産学連携部医療機器研究課長 三代川 洋一郎 氏  
「日本医療研究開発機構における医療機器開発  
及びロボット介護機器開発の取り組みについて」

16:45～17:05 医工（産学）連携の事例紹介  
九州産業大学ヒューマン・ロボティクス研究センター 榊 泰輔 所長  
九州工業大学大学院生命体工学研究科 准教授 和田 親宗 氏

17:05～17:45 先進事例紹介  
安川電機（株）技術開発本部 ロボティクスヒューマンアシスト事業推進室  
HA事業推進第2チーム 課長 山中 太 氏  
「ヒューマンアシスト装置開発の取り組み  
～移乗アシスト装置開発の産官連携事例～」

リーフ（株）副社長・経営企画 竹本 良美 氏  
「行政との連携を通じた医療・介護機器開発の取り組み」

17:45 閉会

## 市民講座 (入場無料)

日 時： 9月9日(水) 10:00~15:00

会 場： 8号館 2階 B室

### プログラム：

<午前の部/ 「食について」>

10:00 開会挨拶：LIFE2015 大会長 榊泰輔

10:05~10:55 講演1：「アンチエイジング『AGEを抑え、老化を防ぐ方法』  
久留米大学医学部 教授 山岸 昌一 氏

11:00~11:50 講演2：「知っていますか？和漢食」  
(株)麻生 飯塚病院 栄養部 栄養士 西島 理沙 氏、江上 千恵 氏

11:55 閉会

12:00 休憩

<午後の部/ 「脳トレ・健康運動」>

13:00 開会挨拶：LIFE2015 大会長 榊泰輔

13:05~13:55 講演3：「高齢者の意欲が高まる新しいケア」  
(株)おとなの学校 エヴァンジェリスト

14:00~14:50 講演4：「にこにこステップ運動&スロージョギング®の効能と実践」  
福岡安全センター(株) 健康運動指導士 佐藤紀子 氏

／福岡大学スポーツ科学部 田中教授監修

14:55 閉会

### <LIFE2015 開催の共催学会について>

**【日本生活支援工学会】** 高齢者と障害者のための技術開発は、多くの学会で熱心に活動が行なわれているが、学会同士の連携は必ずしも充分ではありません。また、学会と福祉実務者のつながりも充分ではありません。これらの課題を解決して連携活動による成果を高めるための団体です。

**【日本機械学会】** 技術社会の基幹である機械関連技術に関わる技術者、研究者、学生、法人の会員から構成されています。講演発表会、講習会、研究分科会などの企画実施、市民フォーラムによる社会の啓蒙活動、国際会議による世界への貢献を活発に行い、会員相互の学術の向上と社会への技術成果の還元をしています。

**【ライフサポート学会】** 福祉工学、生活・生命支援工学分野の研究および情報交換を行うため、昭和60年に設立されました。年次大会の開催も25回を超え、当該分野におけるフロンティア的役割を果たしてきました。医用・福祉工学の分野において、介護機器、機能補助・代行機器、治療機器、検査機器、計測機器などをコンピュータ技術、情報処理技術、制御技術、微細加工技術などにより、インテリジェント化と機能の高度化を目指します。

<お問い合わせ> LIFE2015 実行委員会 九州産業大学工学部バイオロボティクス学科内

E-mail: [life2015inquiry@ip.kyusan-u.ac.jp](mailto:life2015inquiry@ip.kyusan-u.ac.jp)

URL: <http://www.kyusan-u.ac.jp/J/kougaku/tb/ushimi/life2015/>